

「データを分析するのが苦手」「資料がまとまらずプレゼンテーションがうまくできない。こんな苦い経験をしているビジネスパーソンも多いのではないだろうか。コンサルティング会社を経営し、「知りたいことは『画』に聞けい」（日本経済新聞出版社）の著者である西村行功氏（46）に、データの分析力やプレゼン能力を高める手法を伝授してもらった。全ページ。

データの分析力を高め、あがる考え方のことには「面発想」が効果です。うまく使うと、仮説を立てる思考を向上させることもつながり効果的に分析結果のメッ

仕事鮮やか 面発想

コンサルタント 西村 行功 寄稿



にしむら・みちなり
橋本大学商学部卒業後、オムロン入社。マーケティング、戦略や経営戦略の策定に従事。ミシガン大学経営大学

図1.世界のエネルギー供給上位10カ国のデータ

1次エネルギー供給量計 (石油換算百万トン)	米	中	ロシア	インド	日	ドイツ	フランス	カナダ	英国	韓国
23.26	1.609	642	573	533	348	275	269	234	230	213
% 天然ガス	23.4	61.7	16.2	34.1	21.8	24.7	5.1	10.7	16.0	23.5
% 石油	40.7	19.3	20.4	22.2	47.8	36.0	33.5	36.5	35.8	47.6
% 原子力	29.1	2.6	54.1	41.1	13.2	22.6	14.6	29.0	37.4	11.9
% 水力/地熱	2.1	0.8	5.9	0.8	13.8	12.5	4.2	5.1	8.9	16.0
% 水素	4.6	15.6	3.4	38.8	3.4	4.2	4.4	8.8	18.9	16.0

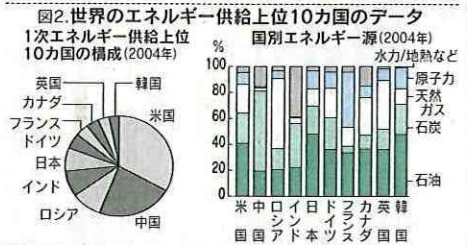
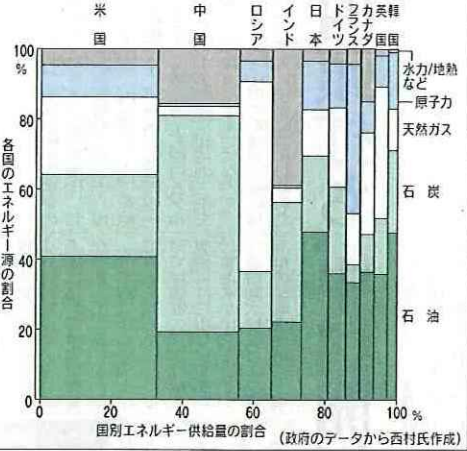


図3.面グラフで見る「世界のエネルギー供給上位10カ国」
1次エネルギー供給量上位10カ国における供給量 (2004年)



資料の要点 スパッと提示

グラフを「面積」で見せる

「面発想」を使うと、仮説を立てる思考を向上させることもつながり効果的に分析結果のメッ

は比較的良好に知られた考
え方ですが、それほど難
しいものではなく、マス

自分の思考も整理・発展

「面発想」を使うと、仮説を立てる思考を向上させることもつながり効果的に分析結果のメッ

「面発想」を使うと、仮説を立てる思考を向上させることもつながり効果的に分析結果のメッ

2つの要素を「かけ算」

「面発想」を使うと、仮説を立てる思考を向上させることもつながり効果的に分析結果のメッ

「面発想」を使うと、仮説を立てる思考を向上させることもつながり効果的に分析結果のメッ

新たな視点、見いだす契機に

「面発想」を使うと、仮説を立てる思考を向上させることもつながり効果的に分析結果のメッ

数など、分析の切り口は無数 (c.com)